



新津中央ロータリークラブ週報

NIITSU CHUO ROTARY WEEKLY REPORT



国際ロータリー第 2560 地区 新津中央ロータリークラブ

創立：1978 年 10 月 2 日

事務所：新潟県新潟市秋葉区新津本町 3 丁目 1 番 7 号
新津商工会議所内 TEL22-0121 FAX25-2332

例会場：新潟県新潟市秋葉区新津本町 2 丁目 7 番 10 号
一楽 TEL22-3155

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

会長：渡邊 嘉子

幹事：草野 満 クラブ会報委員長：保坂 勝志

2014～2015 年度

国際ロータリー会長

ゲイリー・C. K. ホエン
(台湾・台北 RC)

ロータリーに輝きを



2014～2015 年度 国際ロータリークラブ第 2560 地区ガバナー 佐々木昌敏 (小千谷 RC)

テーマ 「ロータリーはあなた自身から」

☆☆☆第 1648 号 (6) 2014. 8. 5 ☆☆☆

<点 鐘>

<ソング> 国歌斉唱 奉仕の理想

<握手タイム>

<会長挨拶>

皆様こんばんは!

今日は、初めての夜例会になります。宜しくお願ひします。そして、米山奨学生のソ・ブンキンさんとの交流会も兼ねておりますので、後程スピーチを宜しくお願ひします。

そして、先日は暑いなか防犯パトロールに多数のご参加ありがとうございました。今回は、まず1歩を踏み出してみたいという感じですが、これから次の活動に繋げていければと思います。また、次回も宜しくお願ひします。今回この活動をするための申請から今日まで風間財団委員長大変ご苦勞様でした。有難うございました。でも、まだこれで終わったわけではなく、これから報告書提出まで、未だ半分仕事が残っておりますのでよろしくお願い致します。

<ゲスト>

ございません。

<ビクター>

ございません。

米山奨学生ソ・ブンキンさんが来られています。

<卓上花>

※花名	スプレーバラ
	赤 ファンファール
	黄 シューテインクスター
※品名	バラ科
※原産地	西アジア
※生産地	新潟市 石坂バラ園
※花言葉	赤：情熱 愛情
	黄：君を忘れない

<会員誕生祝い>

原山 博臣君 (8/12)

<パートナー誕生祝い>

小林 一大君	奥様 由実様	(8/13)
青柳 敏明君	奥様 恵子様	(8/17)
風間 啓一郎君	奥様 真由美様	(8/31)



<幹事報告>

1. ガバナー佐々木昌敏様、地区大会実行委員長星野徹也様から RI 第 2560 地区大会開催について (ご案内) が届いております。

・地区大会 (1 日目)

日時：2014 年 10 月 25 日 (土)

登録：12:00～13:00

会議：13:00～16:30

晩餐会：17:00～19:00

会場：小千谷市総合産業会館サンプラザ

出席希望者

- ①RI 会長代理ご夫妻、②RI 会長代理エイドご夫妻、③地区外部招聘の皆様
- ④地区諮問委員、⑤ガバナー補佐、⑥ガバナースタッフ、⑦地区主要行事実行委員長⑧各委員会の委員長、副委員長、小委員長
- ⑨各クラブ会長・幹事

・地区大会 (2 日目) 本会議・レセプション

日時：2014 年 10 月 26 日 (日)

登録：8:30～9:30

本会議：9:30～14:30

記念講演：15:00～16:30

レセプション：17:15～19:00

会場：小千谷市総合体育館

<委員会報告>

- ・風間啓一郎ロータリー財団委員長より
2日開催の社会奉仕委員会と合同の防犯パトロールご協力感謝の御礼
- ・青柳敏明ゴルフ同好会幹事より
地区大会記念ゴルフコンペのご案内

<出席報告>

前回の訂正 欠席者9名中2名メイクアップのため
75.00%
本日の出席 会員28名中19名出席で67.86%

<米山金の授与>

渡邊嘉子会長から ソ・ブンキンさんへ授与

<会長の時間>卓話

- ・米山梅吉さんについて

日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏は1868年2月4日に生まれました。また、ロータリー創始者のポール・ハリスも1868年4月19日生まれで、くしくもこの2人は同じ年生まれでした。

梅吉の母は、三島大社の神宮の娘で当時としては最も教養のある家庭に生まれたこととなります。そして5才の時に父を亡くし母の実家のあった三島市で幼少の時を過ごしました。

彼は神童と言われるほど頭のいい子供で、おまけに美少年であったようです。それもあって12歳の時に土地の旧家、米山家の養子にと懇望され、以来「米山梅吉」と名乗ることになりました。梅吉は中学で英・漢・数をきっちり身につけ、成績もよく、友達も多く、楽しく学生生活を送ることができましたが、地主として一生を過ごさなければならないなど将来の事を考え、苦学してでも今以上に勉強したいという願望で、16才の時、無断で家出をして先輩を頼って上京し、苦労しながら勉強に励みました。そして、それでも満足できずアメリカへ行って勉強することを考えはじめました。その頃アメリカには、お金がなくとも住む部屋を与えられ仕事の合間に学校へ行く事が許されるスクールボーイと呼ばれる貧しい青年のための学問への道が開かれているのを知りアメリカ行きを決意しました。

そして、だまって家出てきた米山家を訪れ、謝り、全てを許して貰いアメリカへ行くことも了解してもらいました。そして、梅吉は20才でアメリカへ渡りスクールボーイとして働きながら苦学で8年間の留學生活を送りました。帰国後文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し、常務取締役となり、その後三井信託(株)を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓しその目的を“社会への貢献”とするなど今日のフィナンソロピーの基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となりハンセン病、結核、癌研究の助成など多くの社会事業、医療事業に奉仕しました。また、子供の教育のためにはる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。

“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らない人でした。

そして、1946年4月28日永遠の眠りにつきました。78才3か月でした。生前、梅吉が東南アジアに深い関心を持っていたことから1952年東京ロータリークラブの会員によって、ロータリー財団の奨学制度を模した「米山基金設立」の構想が立てられ「1ヶ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」という合い言葉から始まった米山奨学事業は、設立以来、累計で奨学金支給者数1万7千人を超え、国籍別では121の国と地域となりました。以上です。今日米山奨学生として来られているソ・ブンキンさんに後程スピーチをお願いしたいと思います。宜しくお願いします。

<米山奨学生ソ・ブンキンさんの卓話>



日本に来て困ったこと、
嬉しかったこと等

ニコニコボックス

◇今日は、初めての夜例会になります。不手際もあるかと思いますがよろしくお願いします。

会長 渡邊 嘉子君
幹事 草野 満君

◇8月2日ロータリー財団委員会と社会奉仕委員会初めての共同作業で山田会長エレクトの御協力を得て第1回目の社会奉仕委員会の事業を終えることができました。会員の皆様には熱い中のご苦勞様でございました。又渡邊会長、風間財団委員長総監督ご苦勞様でした。

社会奉仕委員長
佐々木健哉君

◇保坂さん社長就任おめでとうございました。

諸橋 敏松君

本日の合計4,000円 (累計95,000円)

財団ボックス

◇2日の防犯パトロールに大変暑い中、多くの皆様から出席をいただき、ありがとうございました。また、家内の誕生祝ありがとうございました。

風間啓一郎君

本日の合計1,000円 (累計11,525円)

<点鐘>

本日は以上で例会を終わります。

お食事をどうぞ!

ワンコインでアルコールも頂けます。

ソ・ブンキンさんとの交流会をお楽しみください。